

前期の終わりに

今日で、令和2年度前期の授業が終わります。今年は、激動の前期でしたね。

1年生は、小学校に入学したのに、4月、5月は入学式も授業もありませんでした。2年生から6年生の皆さんは、新しい学年、新しいクラスになったのに、やはり学校に来ることはできませんでした。さみしい思いやつまらない思いをしたことと思います。

やがて、代々木山谷小学校では「学校再開プロジェクト」が始まり、タブレットを使って、お友達や担任の先生とつながることができるようになりました。少しだけ、安心できたのではないかと思います。画面を通してですが、皆さんの顔を見ることができて、先生たちもうれしかったです。

6月に入ると、分散登校が始まり、週に2回は学校に来ることができるようになりました。お友達と、または先生と、会うことができるようになりました。やっぱり、直接顔を合わせてお話ができるとことって素敵なことですね。

このコロナの中、皆さんはたくさんのことを学んだと思います。人と人が、何も気にせず握手をする、話をする、一緒に遊ぶ、そんなあたりまえのことが、あたりまえにできることって、幸せなことだということがわかりましたね。

それは、実は私たち大人も同じことを感じているのです。何しろ、みんな初めての経験だからです。

コロナは、もう解決、大丈夫というわけには、まだいきません。だから、この機会に人としてあたりまえのことができることは、大切なこと、ありがたいことと心に刻みましょう。そのことが、コロナの後、きっと心の支えになる時があると思います。

さて、今日は前期最後の日なので、担任の先生から通知表を受け取ります。そこには、前期にがんばったことや、これからもっとできそうなことなどが書かれています。それをよく読んで、自分ががんばったことを、自分でほめてあげてください。そして、後期の目標をしっかりと決めてください。

秋休みが終わって、皆さんにとってすてきな後期になることを願っています。